



大草小学校だより

第1号

令和5年4月14日 校長 山口 隆

令和5年度スタート！

簡単に自己紹介

このたび大草小学校の校長として真津山小学校から参りました、山口隆と申します。どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。実家は本野の山奥にあります。小さいころから野山を走り回ってカブトムシをとったり、川で泳いで魚をとったり…。大自然の中で育った野生児です。

真津山小は大規模校でしたが、その前は平戸や対馬で複式学級のある学校にいたので、大草小の雰囲気は本当に懐かしく、うれしい気持ちでいっぱいです。

胸張ってまちがう！

始業式や入学式でも話をしましたが、子どもたちはわからないことがあるから学校に来ています。「わからない」と堂々と言っているのです。わからないことが多いので、まちがうのも当たり前なのです。わたしたちは、「試行錯誤のある授業」を目指します。そのためには、多くのつまずきやまちがいがどんどん出てきたほうがいいのです。授業だけではありません。仲間との集団生活の中で、ときには人を傷つけることがあるかもしれません。傷つけられることもあるかもしれません。だからこそ、優しくする必要性に気づき、行動にうつすことができるのです。自分自身人を傷つけた思い出は、苦い経験として残り、同じようなことは2度としないようにしています。

このように「まちがいは授業の宝」「トラブルは指導のチャンス」という考え方で指導していきます。おうちでも宿題や返されたテストのまちがいを見つけたら、「どうしてこのようにまちがえたのかな…。ああ、なるほど、そう考えたからまちがえたんだね。」と、共感するようなあたたかいまなざしで見守ってほしいと思います。友達とトラブルがあったとしても、指導するチャンスととらえて接してほしいと思います。そのようなあたたかいまなざしの中でこそ、子どもたちは安心してまちがい、のびのびと育っていきます。

わたしは本当に大草のことをよく知りません。「大草のことわかりません。だれか教えてください。」と子どもたちにも言っています。クイズ形式だとなおいいです。集まった問題を集約して「大草検定」を実施したいと考えています。保護者の皆様も、ぜひ私宛にクイズで大草のことを教えてください。